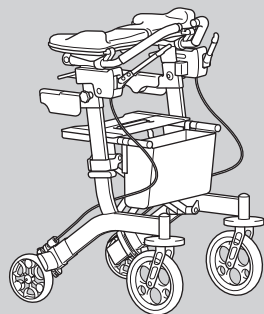


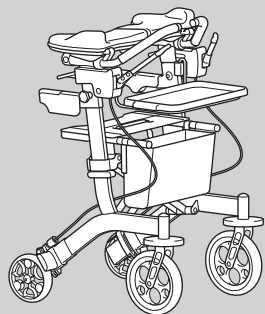
安^{あんじゆ}寿

歩行車 リトルターン Z/ZT/Z 抑速付/ZT 抑速付

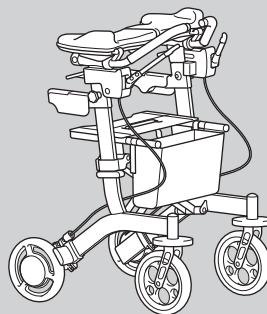
共通取扱説明書



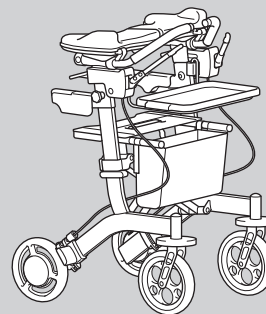
リトルターン Z



リトルターン ZT



リトルターン Z
抑速付



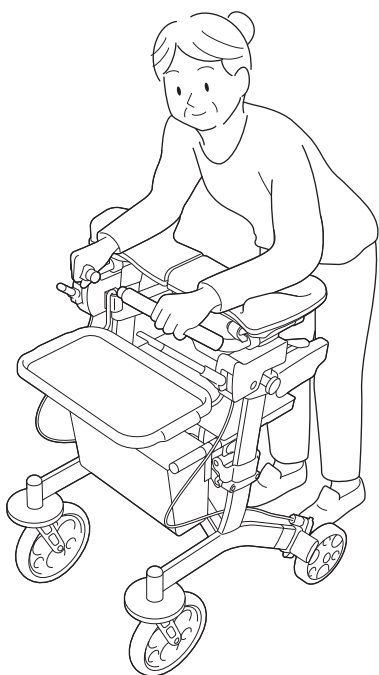
リトルターン ZT
抑速付

最大使用者体重：100kg

ご使用前にこの取扱説明書と保証書をお読みください。

このたびは本製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・ 正しくお使いいただくため、ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- ・ 取扱説明書を読んだあとは必ず保管してください。



- ・ この製品は、主として自力での歩行が困難な方の歩行を補助する歩行車です。身体状況が不安定な方は、同伴者の付き添いのもとで使用してください。
- ・ ご使用の際には、専門家（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士など）に相談してください。

保存版
(保証書付)

ARONKASEI CO.,LTD.

もくじ

👉 確認しましょう



確認しましょう P. 2～3

- ・梱包品の確認…………… 2
- ・各部の名称…………… 2
- ・商品の寸法図と仕様…………… 3

⚠️ 安全上のご注意



安全上のご注意 P. 4～11

🔧 ご使用の前に



ご使用の前に P. 12～15

- ・本体を開きましょう…………… 12～13
- ・トレー・トレーフレームを取り付けましょう … 13
- ・アームレストの高さを調節しましょう…………… 14
- ・バッグの取り外し、取り付けかた…………… 15

💖 使いましょう



使いましょう P. 16～22

- ・バッグの使い方…………… 16
- ・操作方法…………… 16
 - ブレーキのかけかた…………… 16
 - 駐車ロックのかけかた…………… 16
 - 折りたたみかた…………… 17
- ・抑速付後輪の抑速ブレーキ力を調整しましょう … 18
- ・ご使用になる前に確認しましょう（点検） … 19
 - 押して歩くとき…………… 20
 - 腰かけるとき…………… 20
 - 支えにして立ち上がる時…………… 21
- ・ご使用いただける環境について…………… 22

💧 お手入れしましょう



お手入れしましょう P. 23～25

- ・お手入れのしかた…………… 23～25

❓ 困ったときには



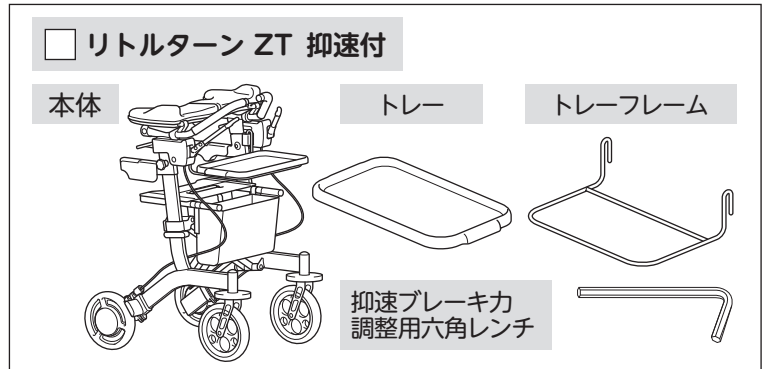
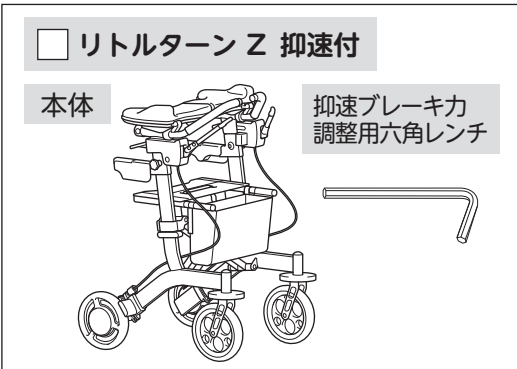
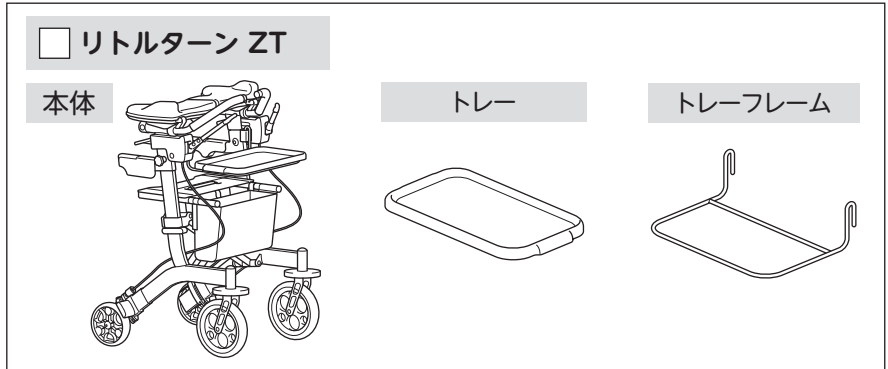
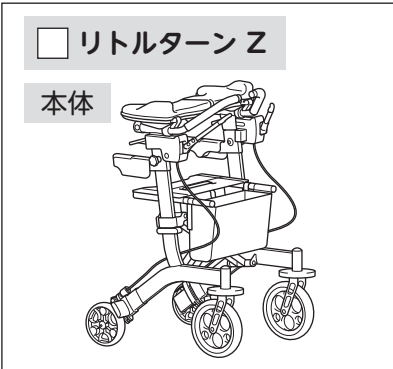
困ったときには P. 25～27

- ・よくあるご質問…………… 25
- ・保証とアフターサービス…………… 26～27

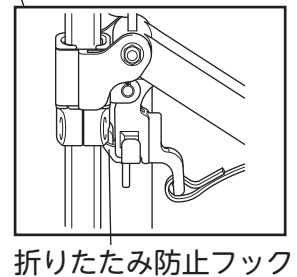
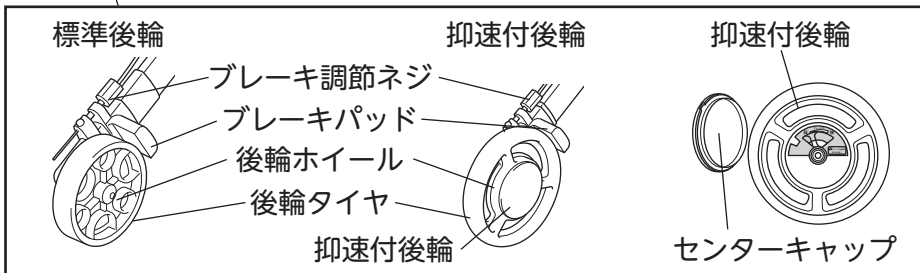
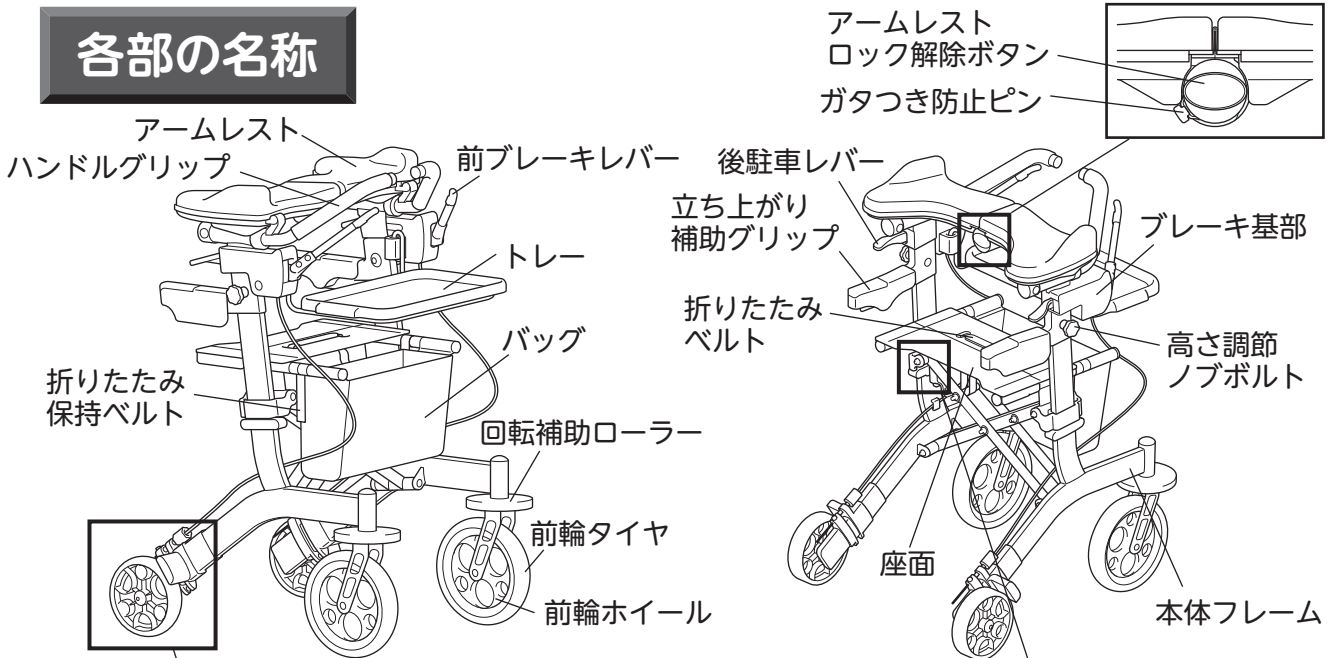
☝ 確認しましょう

梱包品の確認

購入した製品にレ点を付け、梱包品が揃っているか、下のイラストを見ながら確認してください。



各部の名称



☝ 確認しましょう

! 安全上の注意

✖ ご使用の前に

👤 使いましょう

🧼 お手入れしましょう

? 困ったときには

👉 確認しましょう

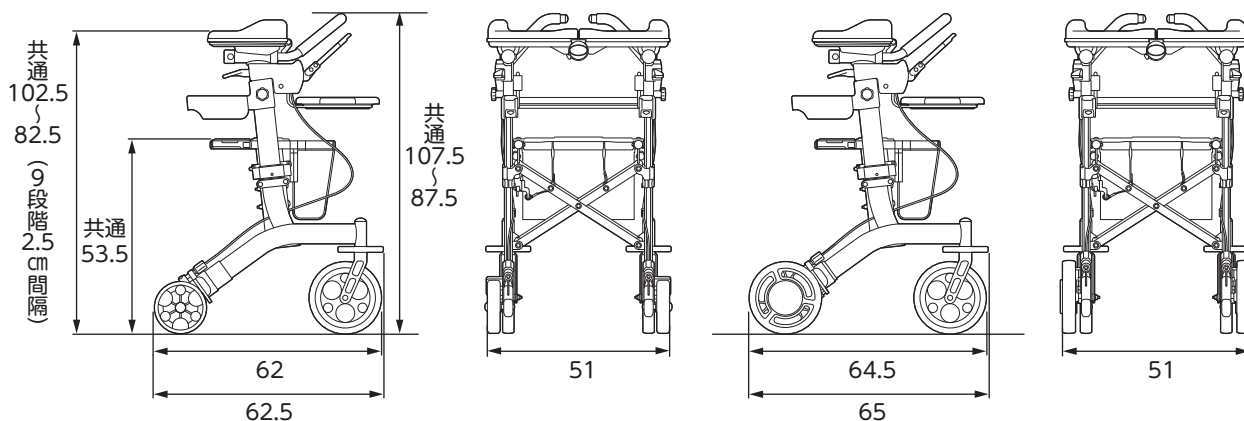
商品の寸法図と仕様

商品寸法図

単位：cm

リトルターン Z / ZT

リトルターン Z 抑速付 / ZT 抑速付



仕様

品名	歩行車 リトルターン Z / ZT / Z 抑速付 / ZT 抑速付		
	部品名	材質	
構成部材	共通	座面、バッグ	ナイロン
		本体フレーム	アルミニウム (粉体塗装)
		トレーフレーム	スチール
		トレー、回転補助ローラー	ポリプロピレン
		ハンドルグリップ	NBR
	車輪	ホイール部：ポリアミド タイヤ部：EVA樹脂 (前輪)、SBR (標準後輪)	
	抑速付後輪 (ナブテスコ株式会社製 CONPAL ユニット)	ホイール部：ポリアミド タイヤ部：SBR	
商品サイズ	リトルターン Z / ZT： 幅 51 × 奥行 62.5 × 高さ 87.5 ~ 107.5cm アームレスト高さ 82.5・85・87.5・90・92.5・95・97.5・100・102.5cm (9段階) 座面高さ 53.5cm		
	リトルターン Z 抑速付 / ZT 抑速付： 幅 51 × 奥行 65 × 高さ 87.5 ~ 107.5cm アームレスト高さ 82.5・85・87.5・90・92.5・95・97.5・100・102.5cm (9段階) 座面高さ 53.5cm		
商品重量	リトルターン Z：9.5kg ZT：10.5kg		
	リトルターン Z 抑速付：11kg ZT 抑速付：12kg		
積載容量	約 7L (載荷重：バッグ 3kg 未満、トレー 2kg 未満)		

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

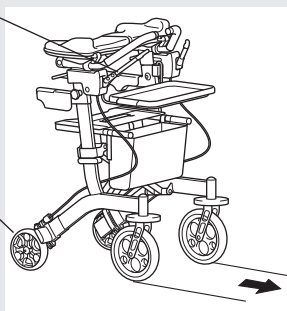
使用前に、必ず以下の作動を確認してください。転倒やけがの原因になります。

ブレーキ、駐車ロックが左右両輪とも正しく作動すること

本体が勝手に動きだす原因になります。

各車輪がしっかりと固定され、スムーズに回転すること

歩行中に車輪が外れる原因になります。



ガタつきなくまっすぐに走ること

バランスをくずす原因になります。

駐車ロックをかけた状態で座面に座り、ロックの効き具合を確認すること

使用前に、必ず以下の項目や、ゆるみや劣化がないかを確認してください。転倒やけがの原因になります。

タイヤおよびブレーキパッドに摩耗がないことを確認し、必要に応じて交換すること

ブレーキがきかずに転倒する原因になります。

図解は…P.25「タイヤ交換時期の目安」「ブレーキパッド交換時期の目安」へ

タイヤがホイールから外れていないか確認すること

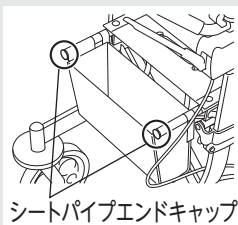
バランスをくずして転倒する原因になります。



タイヤ
ホイール

シートパイプにシートパイプエンドキャップが付いているか確認すること

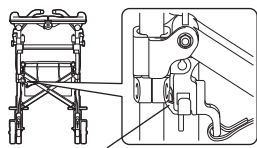
バッグが外れる原因となります。



シートパイプエンドキャップ

本体が完全に開いていること

中途半端に開いていると、バランスをくずす原因になります。



折りたたみ防止フックがかかっている

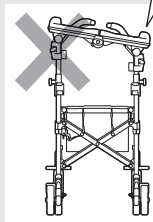
各部のネジやナットがゆるんでいないか確認すること

図解は…P.19「使用前に、必ず本体に異常がないかを確認してください」へ

アームレスト高さは左右同じ高さにする

左右のアームレスト高さが異なると本体が転倒し、けがの原因になります。

アームレスト高さが異なる

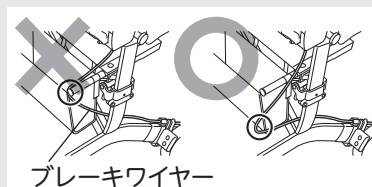


アームレスト高さは規定の高さ(102.5cm)を超えずに設定すること

規定の高さ以上に設定すると、バランスをくずして転倒する原因になります。

ブレーキワイヤーが折れ曲がっていたり、バッグなどに引っかかっていることを確認すること

ブレーキが上手く機能しないおそれがあります。



ブレーキワイヤー

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用前の

使いまし

お手入れ

？困ったときには

！ 安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

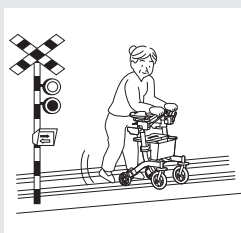
本体の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止すること

重大な事故につながるおそれがあります。

身体状況が不安定な方（ふらつきがある方や認知症の方）には、介助者が付き添うこと

以下の環境では十分に注意して使用してください。転倒やけがの原因になります。

坂道、踏切の横断では十分に注意すること



交通の頻繁なところ、混雑しているところでは十分に注意すること



段差および溝のあるところでは十分に注意すること

段差の手前では必ず止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。



夜間など、見通しの悪い環境では十分に注意すること



また、段差に斜めに進入すると、ハンドルをとられたり、段差に乗り上がらずにつんのめったりして、段差につまづき転倒の原因になるのでおやめください。

滑りやすい床での使用では十分に注意すること

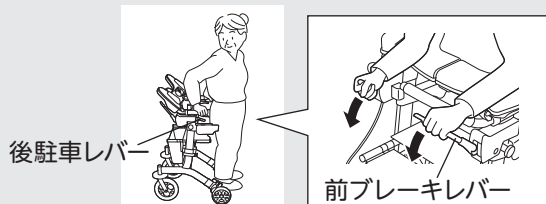
- ・ワックスをかけた床
- ・大理石の床など



以下の点に、十分に注意して使用してください。転倒やけがの原因になります。

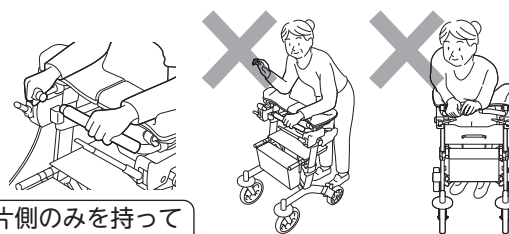
以下のときは必ず前ブレーキレバーまたは後駐車レバーを下げ、駐車ロックをかけること

- ・本体からはなれるとき
- ・座面に座るとき
- ・座面から立ち上がる時
- ・立ち上がり補助グリップを支えにして立ち上がる時



本体が不意に動きださないよう、左右両輪が止まっていることを確認してください。座面に座るときは、本体に体が当り、本体が動きださないよう、注意してください。

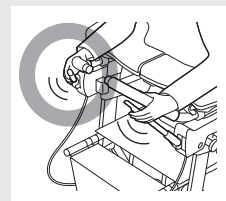
ハンドルグリップは両手で操作すること



片側のみを持って操作しない

ブレーキは左右同時にかけること

片側のみでブレーキをかけると、本体が転倒し、けがの原因になります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

以下の点に、十分に注意して使用してください。転倒やけがの原因になります。

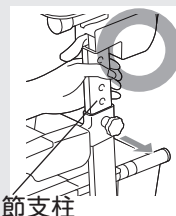
立ち上がり補助グリップは両手で左右のグリップを支えること



高さ調節支柱を手で支えて高さ調節ノブボルトを取り外すこと

アームレストが落下して指を挟み、けがをするおそれがあります。

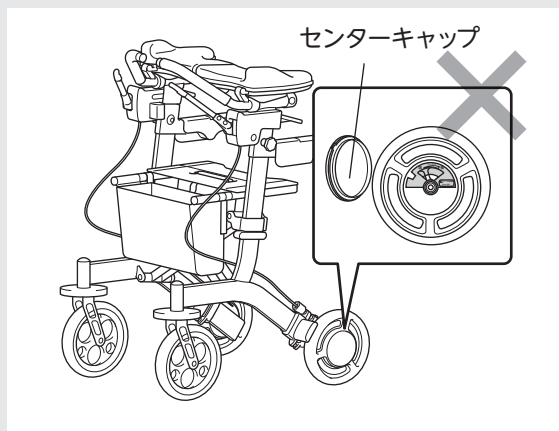
高さ調節支柱



抑速付後輪に関して

センターキャップが必ず取り付けられた状態で使用すること

外れていると抑速付後輪の内部にゴミや水が浸入し所定の抑速ブレーキ力を得られず転倒するおそれがあります。



抑速付後輪の抑速ブレーキ力の調整は販売店にて行うこと

抑速付後輪の抑速ブレーキ力が身体状況に合っているか、試運転などにより必ず確認してから使用すること

抑速ブレーキ力と使用者の身体状況の不一致により予期せぬ転倒の原因になります。

抑速付後輪の内部に水が入った場合は以下のことを行うこと

1. 前後に5、6回スピードをつけて動かす。
2. 走行速度に応じて抑速ブレーキが作動することを確認する。

停止するときは前ブレーキレバーを操作すること

抑速ブレーキは車両を完全に止めるものではありません。

確認しましょう

！安全上の「注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

！ 安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

以下の使いかたをすると、転倒やけがの原因になります。

アームレスト片側に寄りかかったり、全体重をかけるような過度の荷重をかけないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



座面に浅く座らないこと
また、アームレストや立ち上がり補助グリップなど座面以外のところには座らないこと



本体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。

アームレストを跳ね上げて歩行しないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



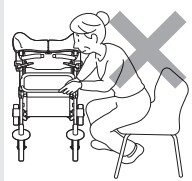
ハンドルグリップ以外の箇所を持って歩行しないこと

本体が転倒し、けがの原因になります。



立ち上がり補助グリップ以外の箇所を立ち上がり時の支えにしないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。

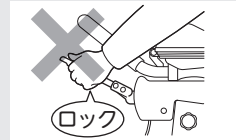


前ブレーキレバーを握った状態で平地を歩行しないこと

転倒し、けがの原因になります。

駐車ロックをかけた状態で歩行しないこと

転倒し、けがの原因になります。



アームレストに過度に体を預けて寄りかからないこと

後方へ転倒する原因になります。



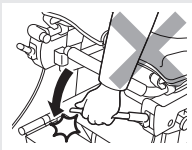
座面に人を乗せたまま移動しないこと

本体が転倒し、けがの原因になります。



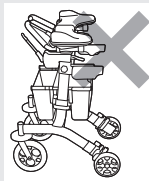
駐車ロック時に前ブレーキレバー、後駐車レバーを過度に押し下げないこと

転倒や故障の原因になります。



バッグを前後両方に取り付けないこと

転倒や故障の原因になります。



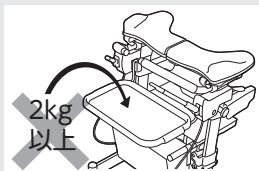
踏み台として利用しないこと

本体が転倒し、けがの原因になります。



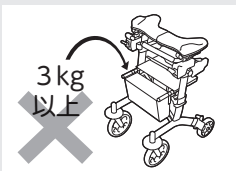
トレーには2kg以上の荷物を乗せないこと

転倒や故障の原因になります。



付属のバッグには3kg以上の荷物を入れないこと

転倒や故障の原因になります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



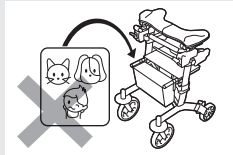
警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

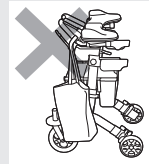
付属のバッグ、トレーに乳幼児やペットを乗せたり入れないこと

思わぬ事故の原因になります。



バッグ、トレー以外に荷物を乗せたり、吊るしたりしないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



体重が 100kg を超える方は使用しないこと

本体が破損するなどし、けがの原因になります。



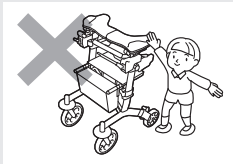
改造はしないこと
また、修理技術者以外の方は、分解したり修理しないこと

本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。



分解禁止

小さなお子様には使用させないこと



トレーを後ろ側に取り付けて使用しないこと

思わぬ事故の原因になります。



以下の環境では使用しないでください。転倒やけがの原因になります。

風の強い時は使用しないこと

本体が勝手に動き出す原因になります。



雨、雪の日など路面が滑りやすい時は使用しないこと



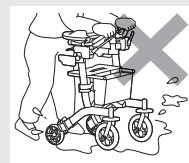
傾斜地では以下のことに注意すること

- ・ 傾斜地では座面に腰かけないこと
- ・ 傾斜地では駐車しないこと

本体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



砂、泥のある場所、特にぬかるみや水たまりでは使用しないこと

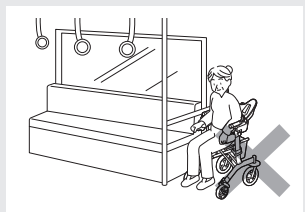


階段やエスカレーターでは使用しないこと

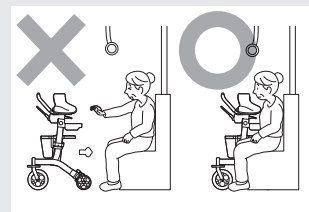


乗り物に乗るときは以下の行為を行わないでください。本体が転倒しけがの原因になります。

バス、電車などの乗り物内では腰かけないこと



バス、電車などの乗り物内で折りたたみした場合には、本体から手を離さないこと



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！ 安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

抑速付後輪に関して

抑速ブレーキを効かせて常にタイヤを引きずった状況で使用しないこと

歩行速度の目安は下表の通りです。この速度を超えて速く押すほど、タイヤと路面でスリップが生じやすくなります。

抑速ブレーキ力設定	歩行速度目安
強	1.5km/h 以下
中	1.5 ～ 2.5km/h 以下
弱	2.5 ～ 3.5km/h 以下

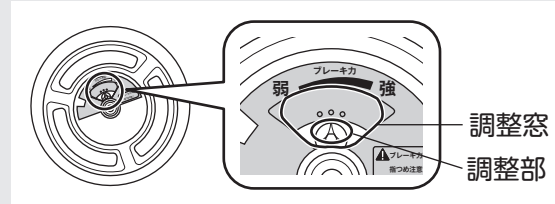
※ 8 度の下り坂自由落下時の収束速度

抑速付後輪を取り外し、他の歩行車や機器に取り付けないこと

思わぬ事故の原因となります。

調整窓には指を入れないこと

指を挟んでけがをするおそれがあります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用前に

使いましゅう

お手入れしましゅう

？困ったときには



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

前ブレーキレバーとハンドルグリップの間に指を入れたままブレーキをかけないこと

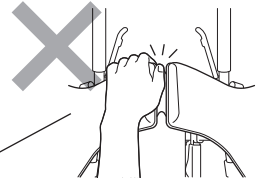
指を挟み、けがの原因になります。



アームレストの中央部に指を入れてアームレストを押し下げないこと

指を挟み、けがの原因になります。

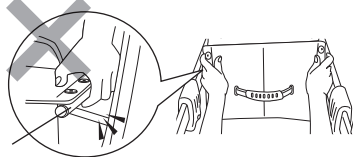
アームレスト



シートパイプの横や下に手や指を置かないこと

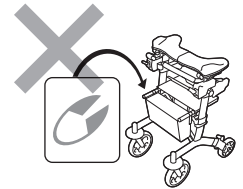
手や指が挟まり、けがの原因になります。

シートパイプ



付属のバッグには鋭利なものを入れないこと

破損や故障の原因になります。



トレーにやかんや鍋などの熱いものを直接置かないこと

変形や破損の原因となります。

トレーフレームを付けたまま本体を無理に折りたたみしないこと

破損や故障の原因になります。

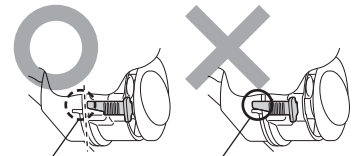


トレーを直火、電子レンジ、オーブン、食器洗い乾燥機、冷蔵庫では使用しないこと

変形や破損の原因となります。

ガタつき防止ピンを差し込んだまま本体を無理に折りたたみしないこと

破損や故障の原因になります。



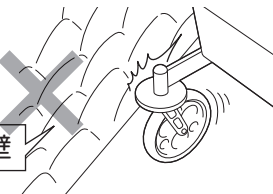
ガタつき防止ピンが差し込まれていない

ガタつき防止ピンが差し込まれている

漆喰や土壁に回転補助ローラーを当てて歩行しないこと

壁の塗装が剥がれる原因になります。

漆喰、土壁



●お手入れ・保管時の注意 以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール
- ・酸、アルカリ性洗剤
- ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
- ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの

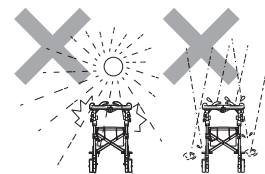
製品が劣化し、破損の原因になります。



屋外に放置したり、直射日光に長時間当てたりしないこと

金属部がさびて故障の原因になったり、紫外線による色落ちの原因になります。

直射日光を避け、雨などでぬれない乾いたところ、風通しの良いところで保管してください。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前の

使いまし

お手入れ

困った

！安全上のご注意



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

●お手入れ・保管時の注意 以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

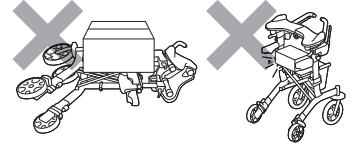
消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いないこと

製品が破損する原因になります。

詳しくは…P.24「消毒方法」へ

荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと

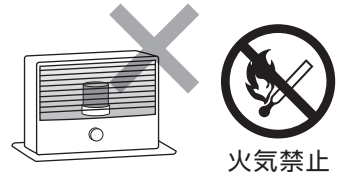
故障や変形の原因になります。



火気に近づけないこと

また、夏季の車内など高温になる場所には保管しないこと

故障や変形の原因になります。



火気禁止

抑速付後輪に関して

抑速付後輪の抑速ブレーキ力の段階は左右で変えないこと

左右の抑速ブレーキ力の不一致により、予期せぬ転倒の原因になります。

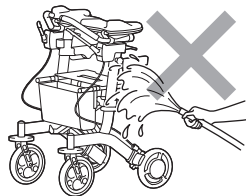
六角レンチにて抑速ブレーキ力を調整するとき以下に注意すること

- ・3段階調整を超えて六角レンチを回さないこと
- ・付属の六角レンチの向きを間違えないこと
- ・六角レンチを差したままタイヤを回さないこと

誤った状態で調整した場合、調整部が破損します。

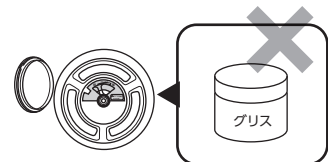
●お手入れ・保管時の注意 以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

お手入れの際は水を掛けないこと 水を含ませ強く絞った布でふくこと



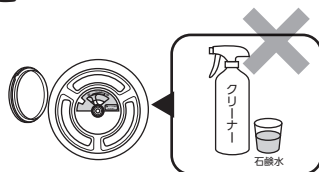
抑速付後輪にグリスや油は使用しないこと

十分な抑速ブレーキ力が発揮されず転倒につながるおそれがあります。



洗浄の際に、石鹼水や油性のクリーナーを使用しないこと

抑速付後輪の内部にゴミや水が浸入し所定の抑速ブレーキ力を得られず転倒するおそれがあります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用前の

使いまし

お手入れ

？困ったときは

✳ ご使用の前に

ご使用の前に、下記の流れにそってトレーの取り付けやアームレストの高さ調節を行ってください。

高さ調節は、使う方の体格や立ち座り動作がしやすいようお買い上げの販売店やケアマネジャーなどの専門家に相談することをおすすめします。

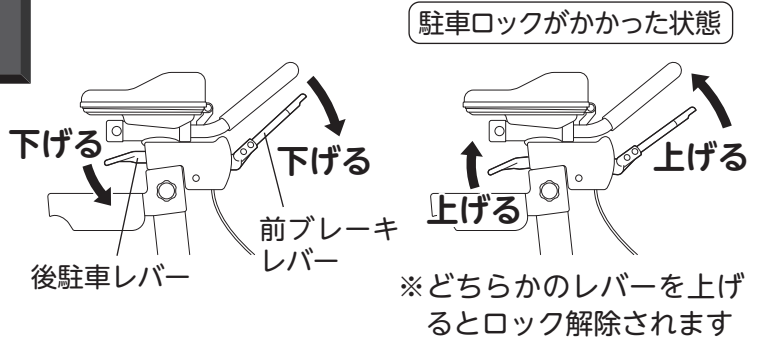


組み立て、および調節は確実に行ってください。

本体を開きましょう

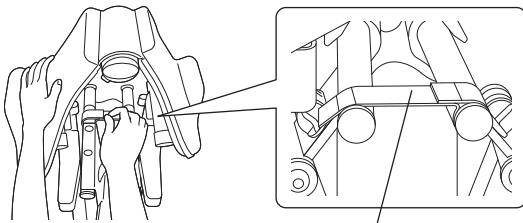
1. 駐車ロックをかける

前ブレーキレバーまたは後駐車レバーを手で左右両方押し下げます。



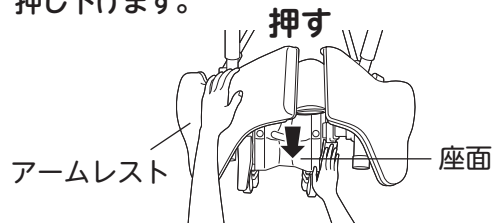
2. 座面を上から押す

①折りたたみ保持ベルトを外します。



折りたたみ保持ベルト

②本体の後方に立ち、片手でアームレストの端を支えながら、座面をもう片方の手で上から押し下げます。



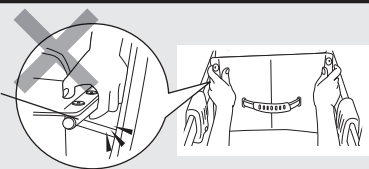
注意



シートパイプの横や下に手や指を置かないこと

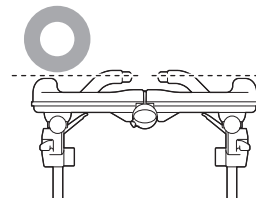
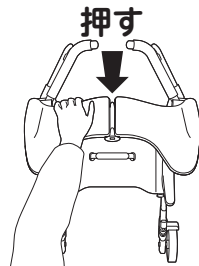
手が挟まり、けがをするおそれがあります。

シートパイプ

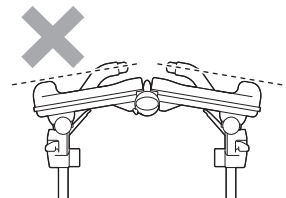


3. アームレストを上から押す

アームレストを上から押し下げます。



正しい状態



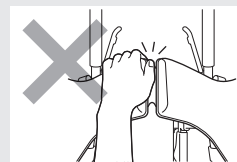
誤った状態

注意



アームレストの中央部に指を入れてアームレストを押し下げないこと

指を挟み、けがをするおそれがあります。



確認しましょう

！安全上のご注意

✳ ご使用の前に

♡ 使いましょう

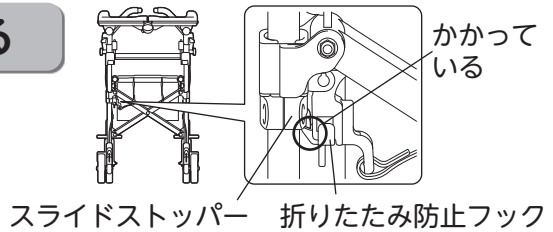
💧 お手入れしましょう

？ 困ったときには

✖ ご使用の前に

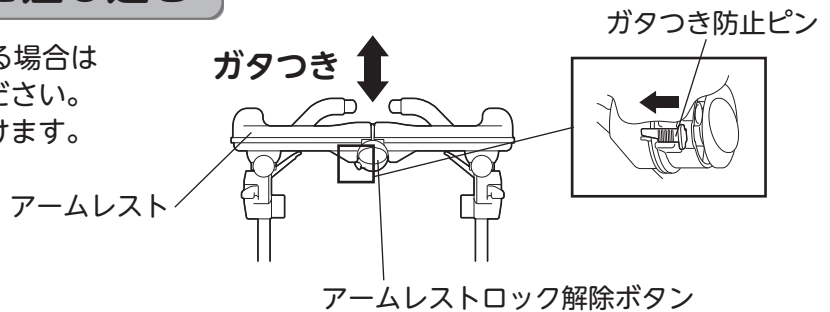
4. 本体が開ききったことを確認する

図のように、折りたたみ防止フックがスライドストッパーにかかっているか確認してください。



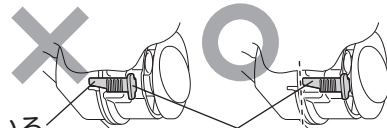
5. ガタつき防止ピンを差し込む

アームレストのガタつきが気になる場合はガタつき防止ピンを差し込んでください。
※差し込まなくてもお使いいただけます。



折りたたみ時はガタつき防止ピンをスライドさせ解除してください。

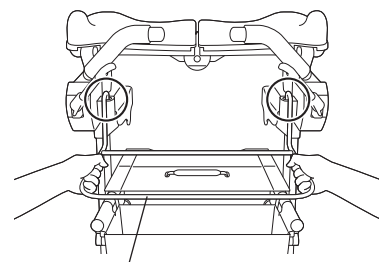
ピンが差し込まれている



ガタつき防止ピン

トレー・トレーフレームを取り付けましょう ※ZT / ZT 抑速付のみ

図のようにブレーキ基部の内側にある穴にトレーフレームを差し込みます。
トレー、トレーフレームは取り外して使用できます。



トレーフレーム

警告



トレーを後ろ側に取り付けて使用しないこと
思わぬ事故の原因になります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

アームレストの高さを調節しましょう

アームレストの高さは（82.5～102.5cm 9段階）の範囲で調節できます。
出荷時は一番低い高さに設定されています。（一番低い高さ：82.5cm）

1. 高さ調節ノブボルトを外す

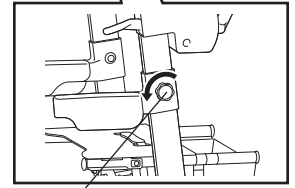
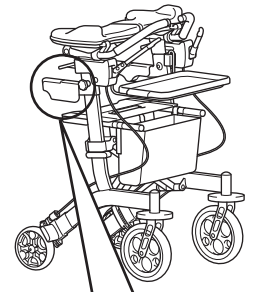
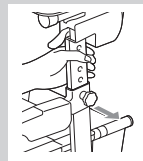
アームレストを固定している、左右の高さ調節ノブボルトをゆるめて外します。

警告



高さ調節支柱を手で支えて高さ調節ノブボルトを取り外すこと

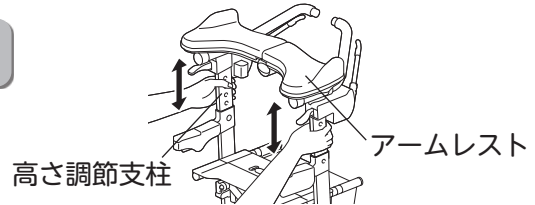
アームレストが落下して指を挟み、けがをするおそれがあります。



高さ調節ノブボルト

2. アームレストの高さを調節する

高さ調節支柱をスライドさせ、使いやすいアームレストの高さにあわせませす。

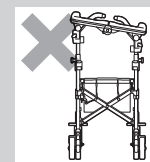


警告



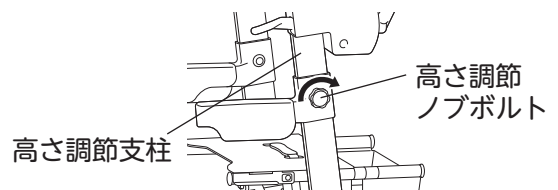
アームレストの高さは左右同じ高さにすること

アームレストの高さが左右で異なると、バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



3. 高さ調節ノブボルトをしめる

高さ調節ノブボルトをしめて、高さ調節支柱を固定します。



4. ブレーキの利きを確認する

アームレストの高さ調節を行った後に、前ブレーキレバーを握って、ブレーキの利きが弱い・強いと感じた時は、ブレーキの調節を行ってください。

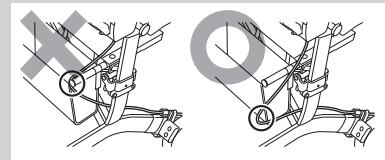
詳しくは…P.24「ブレーキの調節方法」へ

警告



ブレーキワイヤーが折れ曲がっていたり、バッグなどに引っかかかっていないことを確認すること

ブレーキが上手く機能しないおそれがあります。



確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

✖ ご使用の前に

バッグの取り外し、取り付けかた

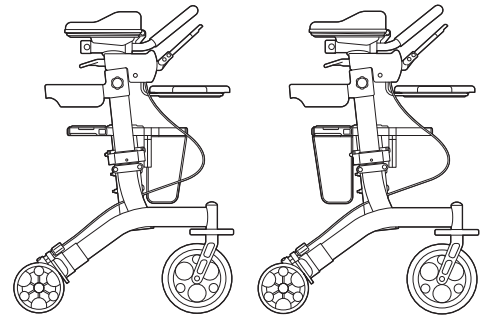
バッグは前方・後方どちらにも取り付けることができます。
出荷時は前方に取り付けられた状態です。
また、取り外して使用することもできます。

警告



バッグを前後両方に
つけないこと

転倒、故障の原因となります。

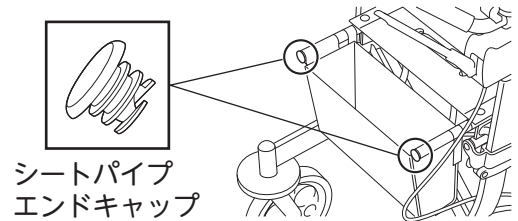


前方

後方

バッグの取り外しかた

左右のシートパイプからシートパイプエンドキャップをマイナスドライバー等で取り外し、バッグをスライドさせ取り外します。

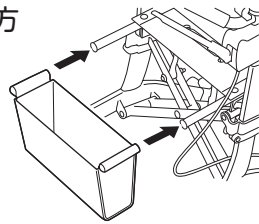


バッグの取り付けかた

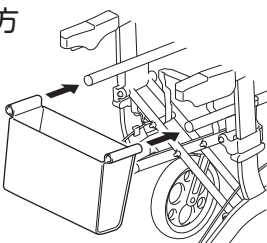
1. バッグをシートパイプに取り付ける

前方または後方のシートパイプにバッグの穴を通し、バッグを正しい方向で取り付けます。

前方

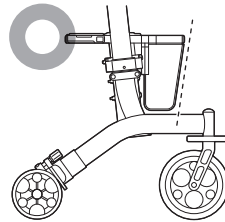


後方

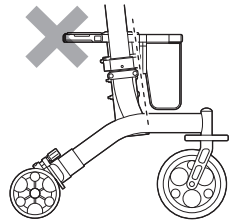


前方にバッグを付ける場合

前方が斜め

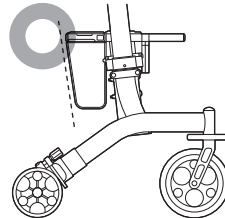


後方が斜め

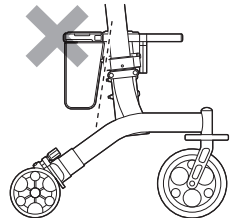


後方にバッグを付ける場合

後方が斜め

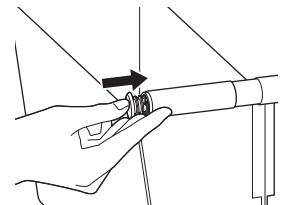


前方が斜め



2. シートパイプエンドキャップを取り付ける

左右のシートパイプにシートパイプエンドキャップを差し込みます。
※入りにくい場合はプラスチックハンマー等で叩き込んでください。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

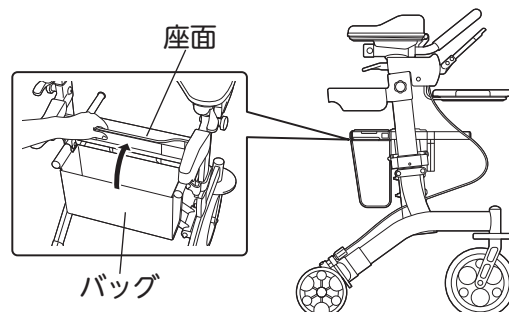
困ったときには

📖 使いましょう

バッグの使い方

バッグを後ろ側に取り付けた場合

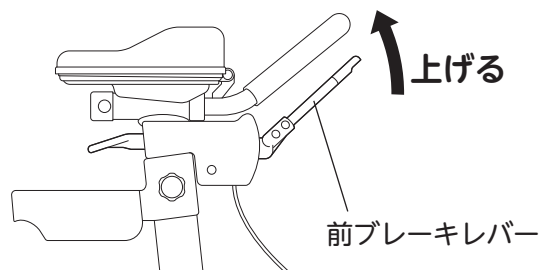
バッグを後ろ側に取り付けた場合、座面の下にバッグが取り付けます。バッグに物を入れるときは座面の後方を上げて開き、荷物を入れることができます。



操作方法

ブレーキのかけかた

前ブレーキレバーを引き上げるとブレーキがかかります。
ブレーキは左右同時にかけてください。



警告



片側のみブレーキをかけて歩かないこと

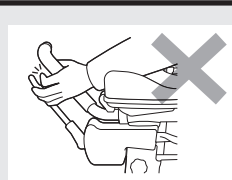
左右同時にブレーキをかけないと、本体が転倒しけがの原因になります。

注意



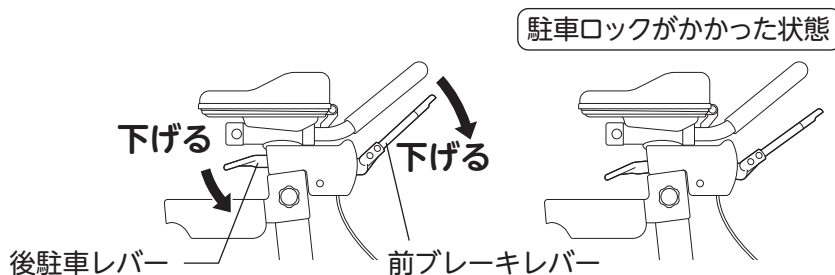
前ブレーキレバーとハンドルグリップの間に指を入れたままブレーキをかけないこと

指を挟み、けがの原因になります。



駐車ロックのかけかた

前ブレーキレバーまたは後駐車レバーを手で押し下げます。
レバーを上げると、駐車ロックが解除されます。



座面に座るときや保管時は、駐車ロックをかけましょう

📖 確認しましょう

⚠️ 安全上の注意

✖️ ご使用の前に

📖 使いましょう

💧 お手入れしましょう

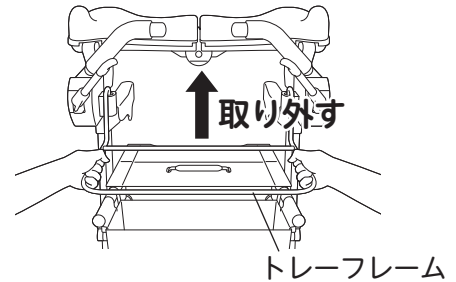
❓ 困ったときには

❤️ 使いましょう

折りたたみかた

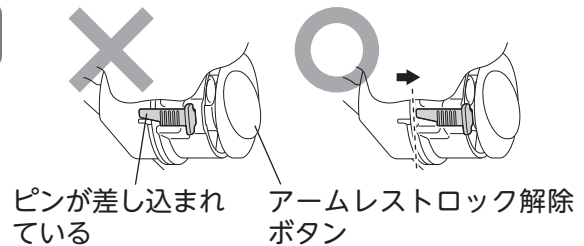
1. トレー・トレイフレームを取り外す

トレー・トレイフレームを本体から取り外します。
※トレー・トレイフレームを使用している場合



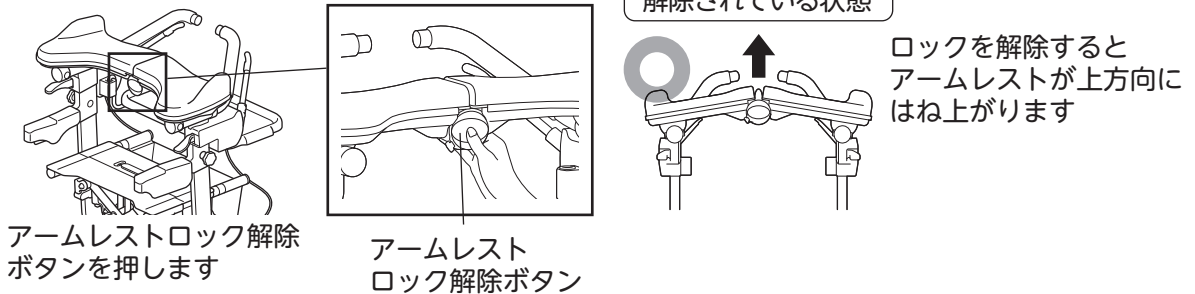
2. ガタつき防止ピンを解除する

アームレストロック解除ボタンに付いているガタつき防止ピンをスライドさせ解除してください。
※ガタつき防止ピンを差し込んでいる場合



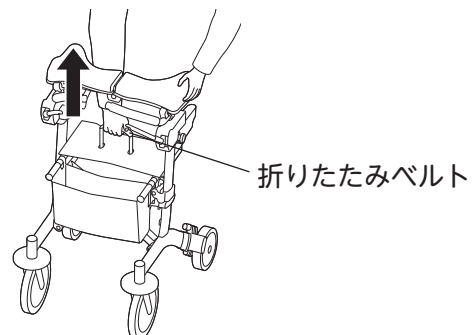
3. アームレストのロックを解除する

アームレストロック解除ボタンを押して、ロックを解除します。



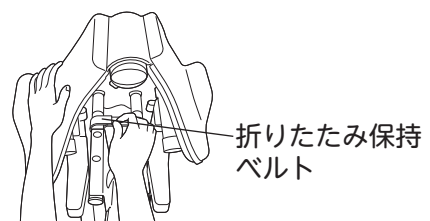
4. 本体を折りたたむ

座面にある折りたたみベルトを上方向に引っ張り本体を折りたたみます。



5. 折りたたみ保持ベルトで固定する

座面の前方にある折りたたみ保持ベルトでしっかり固定します。



確認しましょう

安全上の注意

使用前の

使い

お手入れ

困ったときは

抑速付後輪の抑速ブレーキ力を調整しましょう

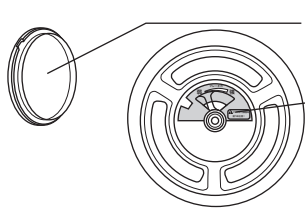
警告



使用開始前 および 抑速ブレーキの効きが悪くなった時は販売店にて抑速付後輪の抑速ブレーキ力の調整を行うこと

利用者は安全のため調整を行わないでください。

1. センターキャップを取り外す

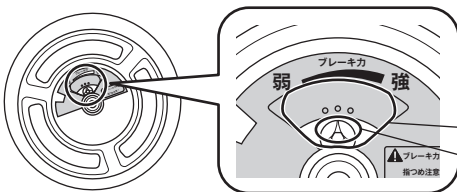


センターキャップ

調整窓

センターキャップ側面に切欠きがあるのでマイナスドライバーを差し込むと容易に外れます。

2. タイヤを回転させ、調整窓と調整部の位置を合わせる



タイヤを回すと調整部が動きます。

調整窓から覗きながら調整部が見える位置に合わせてます。

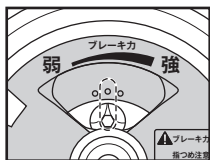
調整窓

調整部

3. 六角レンチを差し込み回して抑速ブレーキ力を調整する



抑速ブレーキ力 強



抑速ブレーキ力 中



抑速ブレーキ力 弱

調整部の六角穴に付属の六角レンチの長い方を差し込んで回し、調整部の矢印マークを設定したい抑速ブレーキ力の位置に合わせてすることで抑速ブレーキ力の調整を行います。(出荷時の抑速ブレーキ力は強に設定されています)

警告



調整窓には指を入れないこと

指を挟んでけがをするおそれがあります。



抑速ブレーキ力調整用六角レンチ

注意



抑速ブレーキ力は、左右同一に調整すること

左右の抑速ブレーキ力の不一致により、予期せぬ転倒の原因になります。

3段階調整を超えて六角レンチを回さないこと
付属の六角レンチの向きを間違えないこと
六角レンチを差したままタイヤを回さないこと
誤った状態で調整した場合、調整部が破損します。

4. センターキャップを元に戻す

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょ

お手入れしましょ

困ったときには

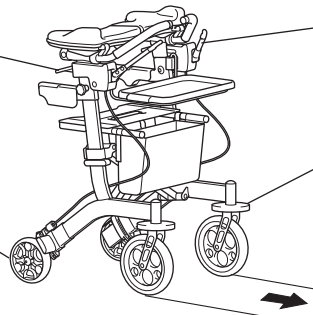
使いまししょう

ご使用になる前に確認しましょう (点検)

使用前に、作動を確認してください

後駐車レバーの駐車ロックが左右両輪とも正しく作動すること

各車輪がしっかりと固定され、ブレーキパッドとタイヤの間にすき間があり、スムーズに回転すること



前ブレーキレバーのブレーキ、駐車ロックが左右両輪とも正しく作動すること

回転補助ローラーがスムーズに回転すること

ガタつきなくまっすぐに走ること

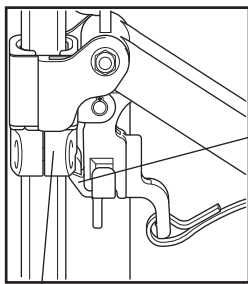
使用前に、必ず本体に異常がないかを確認してください

アームレストが左右同じ高さであること

左右の高さ調節ノブボルトがゆるんでいないこと

本体が完全に開いていること

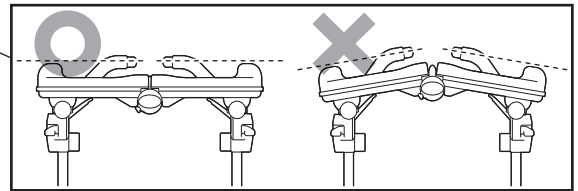
折りたたみ防止フックがスライドストッパーにかかっていること



スライドストッパー

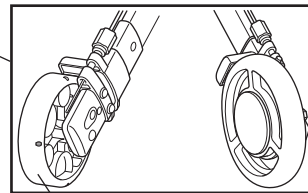
折りたたみ防止フック

アームレストが完全に開いていること



バッグが外れていないこと

タイヤおよびブレーキに摩耗がないこと

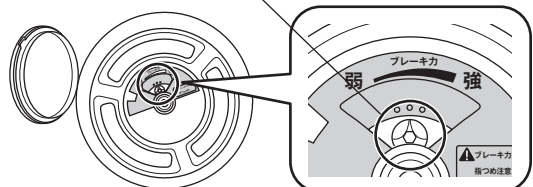


溝が残っていること
※溝は内側になります

抑速付後輪がロックされた場合

センターキャップ内で部品が外れていないか確認の上、ただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。

中の部品が外れていないか確認



不具合を感じた場合はただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いまししょう

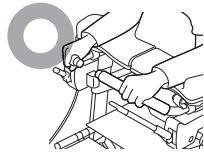
お手入れしましょう

困ったときには

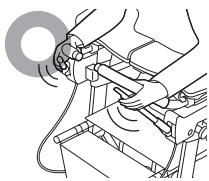
押して歩くとき

以下のことに注意してご使用ください。

ハンドルグリップは両手で操作すること



ブレーキは左右同時にかけること



歩行時は駐車ロックが解除されていること

歩いて使用すること

アームレスト片側に寄りかかったり、全体重をかけるような過度の荷重をかけないこと



アームレストを跳ね上げた状態で使用しないこと



後ろ向きに押さないこと



腰かけるとき

以下のことに注意してご使用ください。

アームレストに過度に体を預けて寄りかからないこと



傾斜地では以下のことに注意すること

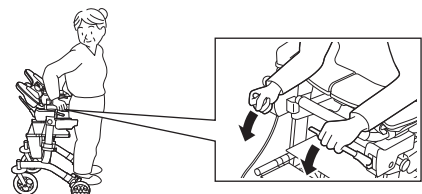
- ・傾斜地では座面に腰かけないこと
 - ・傾斜地では駐車しないこと
- 本体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



平坦で安定した場所で座ってください。

以下の時は、必ず駐車ロックを掛けること

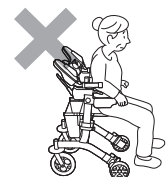
- ・座面に座るとき
- ・座面から立ち上がる時
- ・本体から離れる時



※座面に座るときは、ハンドルや後駐車レバーに体が当たり、本体が動き出さないよう注意してください。

座面には深く座る

浅く座ると本体が移動する可能性があります。



また、座面以外のところには座らないでください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

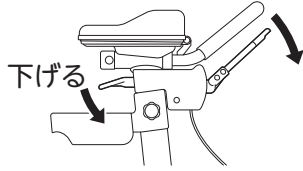
困ったときには

❤️ 使いましょう

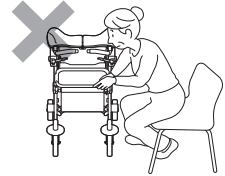
支えにして立ち上がる時

以下のことに注意してご使用ください。

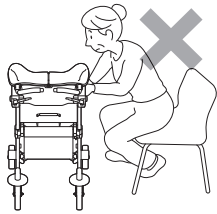
必ず駐車ロックを掛けて立ち上がること



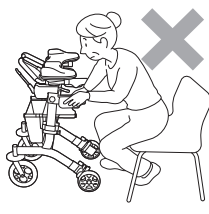
立ち上がり補助グリップ以外の箇所を立ち上がり時の支えにしないこと



立ち上がり補助グリップは両手で左右のグリップを支えること

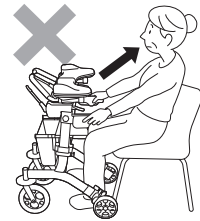


本体の側方から手を置く



片側に両手を置く

立ち上がり補助グリップを引っ張りながら立ち上がらないこと



👁️ 確認しましょう

⚠️ 安全上の注意

🚫 ご使用の前に

❤️ 使いましょう

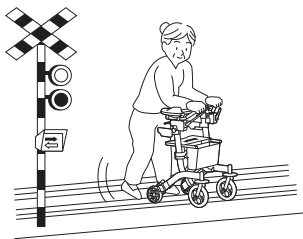
💧 お手入れしましょう

❓ 困ったときには

ご使用いただける環境について

以下の環境では、十分に注意して使用してください。

■急な坂道、踏切の横断



■段差および溝のあるところ

段差の手前では必ず止まり、十分に注意して慎重に段差を越えてください。

また、段差に斜めに進入すると、ハンドルグリップをとられたり、段差に乗り上がらずにつんのめったりして、段差につまづき転倒の原因になるのでおやめください。



■交通の頻繁なところ、混雑しているところ

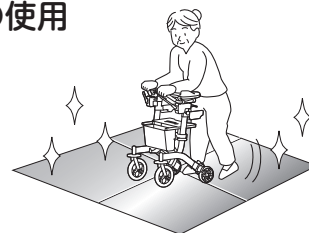


■夜間など、見通しの悪い環境



■滑りやすい床での使用

- ・ワックスをかけた床
- ・大理石の床など



以下の環境では、使用しないでください。

■雨、雪の日など、路面が滑りやすい時は使用しないこと

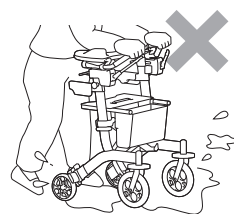


■風が強い時は使用しないこと

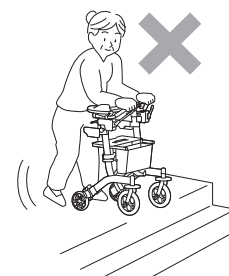
本体が勝手に動きだす原因になります。



■砂、泥のある場所、特にぬかるみや水たまりでは使用しないこと



■階段やエスカレーターでは使用しないこと



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょ

💧お手入れしましょ

？困ったときには

🔴 お手入れしましょう

下記の手順に従ってこまめにお手入れしてください。

👁️ 確認しましょう

警告



分解禁止

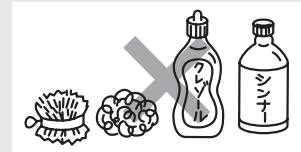
改造はしないこと
また、修理技術者以外の方は、分解したり修理しないこと
本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

注意



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・シンナー ・クレゾール
 - ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・塩素系薬剤（洗剤）や熱湯（煮沸消毒など）による殺菌、消毒
 - ・磨き粉、タワシ、研磨剤入りスポンジ、その他製品を傷つけるもの
- 製品が劣化し、破損の原因になります。

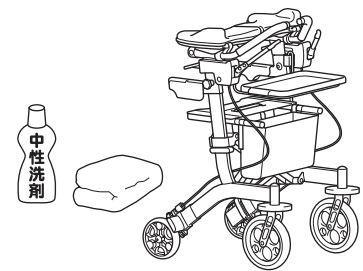


⚠️ 安全上の「注意」

お手入れのしかた

日常のお手入れ方法

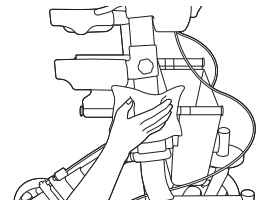
※汚れがひどい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れをふきとり、その後、水で濡らした布で洗剤をふきとり、よく乾かしてください。



✖️ ご使用の前に

金属部分・樹脂部分

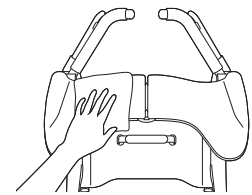
- 雨などでぬれた場合は、乾いた布でふきとってください。
- 泥やほこりがついた場合は、水で濡らした布を固くしぼってふきとり、その後、乾いた布でふいてください。



👉 使いましょ

バッグ・座面・アームレスト

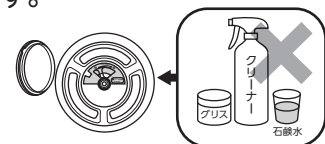
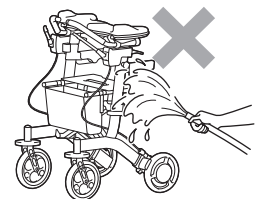
- 水で濡らした布を固くしぼってふきとり、その後、よく乾かしてください。
- 使用後はバッグ内部に水気が残らないよう、乾いた布でよくふきとってください。



🔴 お手入れしましょ

抑速付後輪

- 手入れの際は水をかけないこと。水を含ませ強くしぼった布でふくこと。
- 抑速付後輪にグリスや油は使用しないこと。
十分な抑速ブレーキ力が発揮されず転倒につながるおそれがあります。
- 洗浄の際に、石鹼水や油性のクリーナーを使用しないこと。
抑速付後輪の内部にゴミや水が浸入し所定の抑速ブレーキ力を得られず転倒するおそれがあります。



❓ 困ったときには

保管時の注意

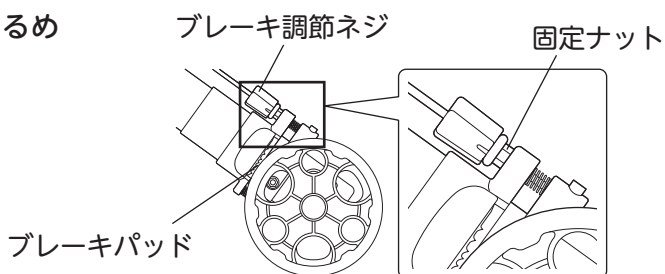
「安全上のご注意」をご確認ください。

詳しくは…P.10～11へ

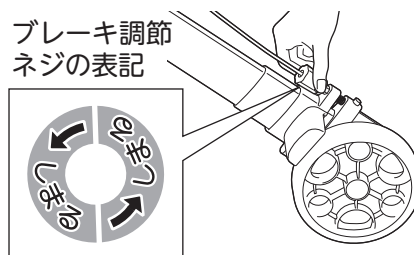
ブレーキの調節方法

ブレーキが利きにくくなった場合、ブレーキ調節ネジでブレーキパッドの位置を調節してください。

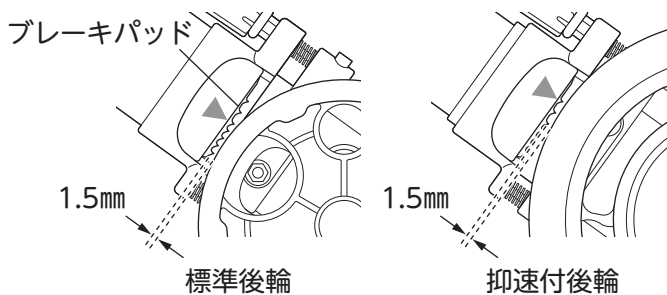
- ① 10mm のスパナを使って固定ナットをゆるめます。



- ② ブレーキ調節ネジを後輪タイヤ側に押し込み、シールの表記に従って、ブレーキ調節ネジを回します。



- ③ ブレーキパッドと後輪タイヤのすき間が 1.5mm になるように調節してください。すき間が小さくなりすぎてしまった場合は、ブレーキ調節ネジを逆方向に回して、調節してください。



- ④ 固定ナットを元の位置までしめ付けます。

- ⑤ ブレーキパッドと後輪タイヤの間にすき間があり、タイヤがスムーズに回転することを確認してください。

消毒方法

消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。

製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

注意



消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと

製品が破損する原因になります。

確認しましょう

安全上のご注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

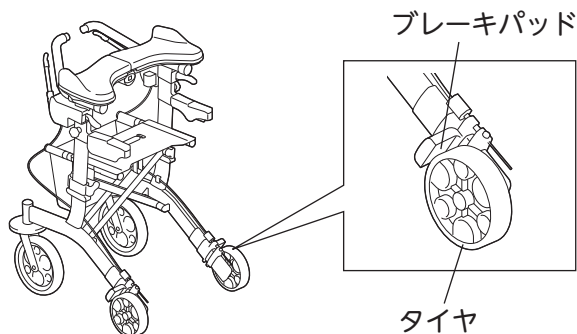
困ったときには

🔧 お手入れしましょう / ❓ 困ったときには

注油について

きしみ音が発生したり作動が鈍い時は、泥や汚れをふきとってから原因の箇所に少量のシリコン系潤滑油を注油してください。

タイヤ、ブレーキパッドに油がつかないように注意し、付着した場合はよくふきとってください。

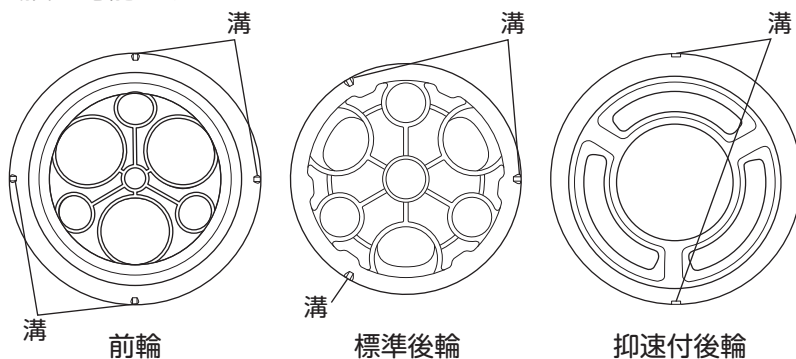


タイヤ交換時期の目安

タイヤ表面にあるタイヤ交換サインの溝が1ヶ所でも削れて見えなくなった時が交換時期です。なお、抑速付後輪はゴム部分のみの交換が可能です。

※タイヤ交換サインは摩耗による交換時期の目安です。

長期の使用による素材の劣化（ひび割れなど）が見られる場合は、タイヤ交換サインの状態にかかわらず、ただちに交換してください。



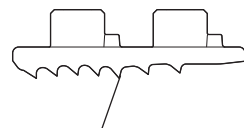
※タイヤ交換はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ブレーキパッド交換時期の目安

ブレーキパッドの凸部がすり減ってなくなっていたら交換時期です。

※長期の使用による素材の劣化（ひび割れなど）が見られる場合は、凸部のすり減り状態にかかわらず、ただちに交換してください。

※ブレーキパッド交換はお買い求めの販売店にお問い合わせください。



凸がすり減ってなくなっていたら交換

よくあるご質問

❓ 抑速付後輪が作動時にこすれるような音がします。



A. 故障ではありません。

抑速ブレーキは摩擦式のため、こすれるような音が多少発生します。また、その音は温度や湿度などの環境によって変化します。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使しましょう

お手入れしましょう

困ったときには

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様等に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
部品供給、また修理対応期間はメーカー製品廃番後3年となります。
ただし、期間内でも破損箇所によっては、部品供給、または修理できないケースがございますのでご了承ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室 ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の
月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00 は除く)

確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用前に

👤使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

※本製品をほかの方にお譲りになる場合は、必ず本書もあわせてお渡してください。

保証とアフターサービス よくお読みください

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2. ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) タイヤなど消耗品の損傷及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒
	ご芳名 TEL
★販売店	住所 〒
	店名 TEL

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

この保証書はご使用できません

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見
・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ **0120-86-7735**
(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00 (12:00～13:00はのぞく)

- ・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
- ・個人情報は適切に管理し、修理やご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

 TOAGOSEI グループ

 アロン化成

アロン化成株式会社

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <https://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

ライフサポート事業部

22.01 919244